

ハザードマッピングセンサ
表層傾斜計

クリノポール

ご導入までの流れ

<p>1 ヒヤリング</p> <p>お客様ニーズをよくお聞きいたします</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置目的 ● 設置台数 ● 計測予定期間 ● お客様の通信環境 	<p>2 設置計画に沿ったご提案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置計画のご提案 ● 必要な作業のご説明 ● ご用意いただくもの説明 ● お見積もりのご提示 	<p>3 ご契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリノポールにかかる費用 およびクラウドご利用にかかる費用などをご確認いただき、ご契約 	<p>4 ご納品</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体のご納品および、設置時の遠隔サポート
---	---	---	--

通信のための起動方法



- クリノポール通信機の小窓を開き、通信機裏の電源ボタンを1回押すと起動します。その時に小窓から見える緑色のランプが点滅→点灯→消灯することを確認してください。
※ 緑のランプ点灯後、赤色が点灯、または何も点灯しない場合は、電波状態が悪いので、設置場所を移動する必要があります
- サーバーに現時点のデータがアップされているか、サーバー管理者に確認してください。
- X軸の傾斜角値、Y軸の傾斜角値、温度値、電波強度測定値、電池電圧値が正常であることをサーバー管理者に確認してください。
- 測定値に問題ないことを確認したら先に開けた小窓を閉め、作業完了となります。

ランプの状態説明

緑の点滅：LTE-Mネットワークをサーチしている状態を表します。
緑の点灯：上記点滅後の点灯は、電波状態良好を表しています。(電波強度測定値>120dBm)
赤の点灯：上記緑点滅後の赤の点灯は、電波状態不良を表しています。(-120dBm<電波強度測定値)
点灯せず：上記緑点滅後、点灯しない場合は、電波の確認ができていない状態です。

製品仕様

名称	表層傾斜計 クリノポール
測定項目	2軸角度(X軸、Y軸)、温度
分解能	0.001°
通信方式	LTE-Cat.M1
電源	専用リチウム電池(3V)で最大5年間稼働 (1時間1回測定、1日1回データ送信、月に1度監視モード発生として試算)
寸法	175×130×47mm(通信部) Ø25×1,000mm(貫通部)
重量	1.5kg
オプション	土層強度検査棒、T字ポール 25φ ※別売り

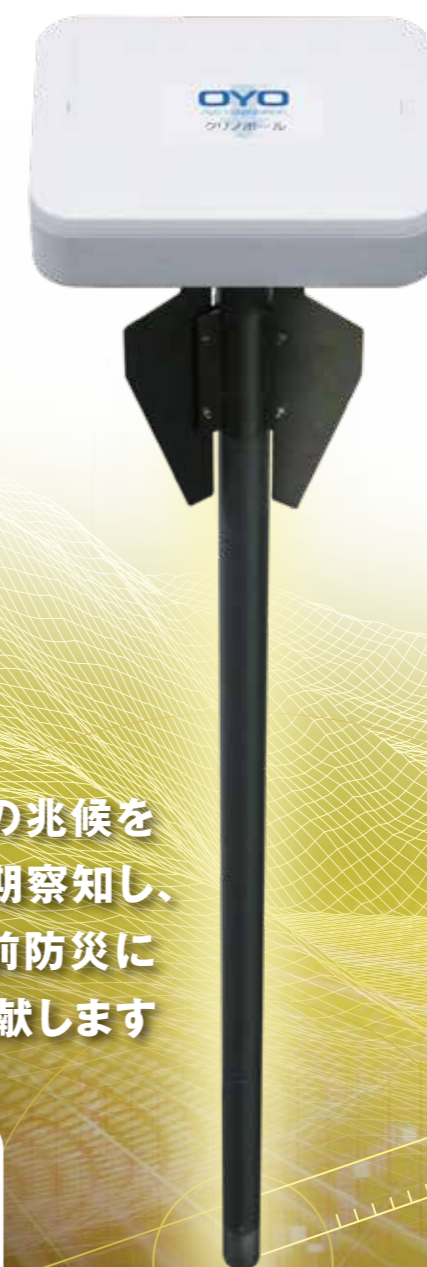


設置動画が見られます

クリノポールは、設置が非常に簡単なことも特徴の一つです。必要な工具も少なく短時間で完了、すぐに運用開始ができます。下記QRコードから、動画での設置のご案内が見られます。



https://www.youtube.com/watch?v=La_DRQ1hMiQ



地盤の挙動をいち早く正確に捉える傾斜計

地すべりの兆候を
早期察知し、
対策および事前防災に
大きく貢献します

計測と通信機能を
一体化、設置も簡単、
警報メールで
災害対策に貢献



地すべりの前兆を検出・予測、災害多発時代に欠かせないアイテム

災害から命と社会と国を守ります。

地盤のわずかな変位を検知することができるので、表層崩壊の早期検知が可能になります。また、多点に設置することで、地盤の多面的な動態観測も可能です。これにより、地すべりの常時監視が行え、迅速な避難勧告の目安となり、命と生活を守ることに貢献いたします。

表層傾斜計 **クリノポール** ハザードマッピングセンサ

1. 0.001°の高分解能

地盤の挙動を早期検知し、さらに多点設置でより多面的な動体観測が可能となり、専門家の対応を強力支援!

2. 簡単な設置

孔を開けて機器を差し込むだけ。設置のために必要な治具もわずか。短時間で設置ができます。

3. 精緻な傾斜データの取得が可能

先端のセンサ部を1m埋没することで温度などの影響を受けずに地盤の変動を正確に測定し、取得できます!

4. しきい値に対応して警報メールを発信

クラウドサービスとの連携で設定したしきい値を超えると警報を発信するので、災害対策に役立ちます。

さらに!

専用のリチウム電池で最大5年間稼働、コストパフォーマンスにも優れています!

用途は
さまざま

地すべりの
動態観測

河川堤防の
維持管理に

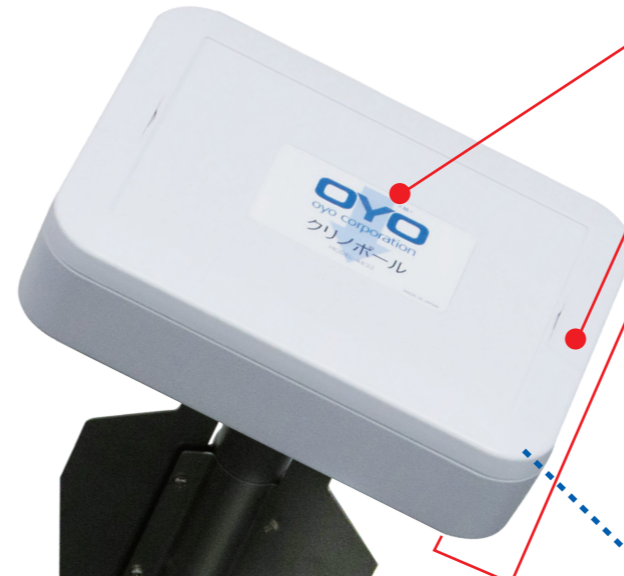
盛り土の
管理に

ため池堤防
の維持管理に

高速道路・鉄道の
法面の安全維持

雨量計・水位計
との併用

ご相談
ください



クラウドとつなげて通信が行える通信部
起動状態ランプ確認小窓
起動スイッチ(裏側)

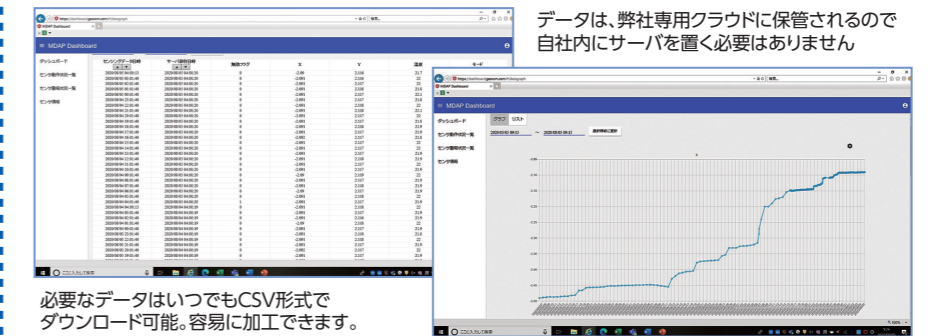
遠隔通信で設定変更、バージョンアップも可能!

FOTA(Firmware On The Air)機能搭載でセキュリティ対策や機能追加もサーバーから遠隔で行えます。また、測定間隔の変更や状態確認などをサーバーから遠隔コントロールする双方向通信を採用! しかもクラウドとの接続でデータ容量の心配をすることなく、多点設置、長期使用が容易に行えます。

OYOクラウドシステムの活用により、いつでもデータ閲覧、操作のしやすい管理画面「ダッシュボード」から、さまざまなデータを閲覧! CSV形式でのダウンロードもできます!

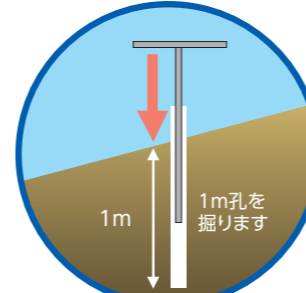


見やすい「ダッシュボード」一覧画面
設置箇所はアイコンで表示
アイコンの色は閾値に応じて白=平常、黄色=監視モード、赤は観測モードと変化します



データは、弊社専用クラウドに保管されるので自社内にサーバを置く必要はありません
必要なデータはいつでもCSV形式でダウンロード可能。容易に加工できます。

設置は簡単です!
裏表紙に記載のQRコードもご活用ください。



設置後、起動スイッチを押すとすぐに稼働!

さらに!

広く普及しているLTE回線利用で
設置場所も広域かつメンテナンスもラクラク!